

第一種使用規程の承認に係る申請案件の審査状況

ご審査いただく案件

| 名 称【申請者】 | 使用等の内容 | 検討状況 | | 承認の状況 | | | | |
|--|---|--|-----------------|--------|------------------|------------|-----------|------|
| | | | | カルタヘナ法 | 食品衛生法 又は飼料安全法 | 農作物 分科会 | 総合 検討会 | 隔離ほ場 |
| | | | | 一般利用 | | 食品 | 飼料 | |
| 1 耐熱性 α -アミラーゼ産生、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネット及びグリホサート耐性トウモロコシ(改変amy797E, 改変cry1Ab, 改変vip3A, 改変cry3Aa2, 改変cry1F, ecry3.1Ab, pat, mEPSPS, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (3272×Bt11×MIR162×MIR604×B.t. Cry1F maize line 1507×Event 5307×GA21, OECD UI: SYN-E3272-5×SYN-BT011-1×SYN-IR162-4×SYN-IR604-5×DAS-01507-1×SYN-05307-1×MON-00021-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【シンジェンタジャパン株式会社】 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | 2021年 9月6日 10月18日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | |
| 2 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (cry1B.868, 改変cry1Da, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (MON95379, OECD UI: MON-95379-3) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | 2021年 9月6日 10月18日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | - |
| 3 コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (mpp75Aal.1, vpb4Da2,DvSnf7.1, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (MON95275, OECD UI: MON-95275-7) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】 | 隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | 2021年 10月18日 11月25日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | - |
| 4 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ (cry14Ab-1.b, hppdPf-4Pa, Glycine max (L.) Merr.) (GMB151, OECD UI: BCSGM151-6) 【BASF ジャパン株式会社】 | 隔離ほ場における使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | 2019年 8月5日 9月26日 2020年 10月12日 2021年 9月6日 10月18日 11月25日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | - |
| 5 雄性不稔及び稔性回復性並びに除草剤グルホシネット及びグリホサート耐性セイヨウナタネ (改変barnase, barstar, 改変bar, 改変cp4 epsps, Brassica napus L.) (MS11×RF3×MON88302, OECD UI: BCS-BN0-12-7×ACS-BN003-6×MON88302-9)並びに当該セイヨウナタネの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) 【BASF ジャパン株式会社】 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | 2021年 9月6日 10月18日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | - |
| 6 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネット耐性トウモロコシ (ipd079Ea, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (DP915635, OECD UI: DP-915635-4) 【コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社】 | 隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | 2020年 8月20日 10月12日 2021年 9月6日 10月18日 | 2021年 12月27日 | - | - | - | - | - |
| 7 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネット耐性トウモロコシ (DvSSJ1, ipd072Aa, pat, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (DP23211, OECD UI: DP-023211-2) 【コルテバ・アグリサイエンス日本株式会社】 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | 2020年 12月17日 2021年 9月6日 10月18日 | 2021年 12月27日 | 2019 | - | - | - | - |

注1:「承認状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。

また、農作物の「隔離ほ場」欄における「免除」は、トウモロコシについては隔離ほ場試験が不要と判断されたもの、スタック系統については親系統と比較し形質間の相互作用が示されていないことを確認しているものであることを示す。

注2:「承認状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、

「-」は未確認であること、「○」は安全性が確認されたもの同士の掛け合わせであることを示す。
 ただし、「-」には、花きや昆虫など、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

耐熱性 α -アミラーゼ産生、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネット及びグリホサート耐性トウモロコシ
(3272×Bt11×MIR162×MIR604×B.t. Cry1F maize line 1507×Event 5307×GA21)

| 名 称【申請者】 | | | 使用等の内容 | 承認の状況 | | | |
|----------|-----------------------------|---|---|--------|------|------------------|------|
| | | | | カルタヘナ法 | | 食品衛生法 又は飼料安全法 | |
| | | | | 隔離ほ場 | 一般利用 | 食品 | 飼料 |
| 1 | 参考資料 1 トウモロコシの番 13、54 | 耐熱性 α -アミラーゼ産生トウモロコシ (amy797E, Zeamays subsp. mays (L.) Iltis) (3272, OECD UI: SYNE3272-5) 【シンジエンタジヤパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び 廃棄並にこれら付随する行為 | 2005 | 2010 | 2010 | 2010 |
| 2 | 参考資料 1 29 | チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネット耐性ト ウモロコシ (改変cry1Ab, pat, Zea mays subsp. mays (L.)Iltis) (Bt11, OECD UI: SYN-BT011-1) 【シンジエンタジヤパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付随する行為 | - | 2007 | 2001 | 2003 |
| 3 | 参考資料 1 32、49 | チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (改変vip3A, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (MIR162, OECD UI: SYN-IR162-4) 【シンジエンタジヤパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付随する行為 | 2007 | 2010 | 2010 | 2007 |
| 4 | 参考資料 1 12、34 | コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (mcry3Aa2, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (MIR604, OECD UI: SYNIR604-5) 【シンジエンタジヤパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付随する行為 | 2005 | 2007 | 2007 | 2007 |
| 5 | 参考資料 1 10 | チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネット耐性トウモロ コシ(cry1F,pat, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (B.t.Cry1F maize line 1507, OECD UI: DAS-01507-1) 【デュポン・プロダクション・アグリサイエンス株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付随する行為 | - | 2005 | 2002 | 2003 |
| 6 | 参考資料 1 50 | コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (ecry3.1Ab, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (Event 5307, OECD UI: SYN-05307-1) 【シンジエンタジヤパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付随する行為 | 2010 | 2013 | 2013 | 2013 |
| 7 | 参考資料 1 14 | 除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (mEPSPS, Zea mays subsp. mays (L.) Iltis) (GA21, OECD UI: MON-00021-9) 【バイエルクロップサイエンス株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び廃 棄並にこれら付隨する行為 | - | 2005 | 2001 | 2003 |

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。

また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたもの
であることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、

「-」は未確認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

【参考】親系統の審査状況

雄性不稔及び稔性回復性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性セイヨウナタネ
(MS11×RF3×MON88302)

| 名 称【申請者】 | | | 使用等の内容 | 承認の状況 | | | |
|----------|---------------------------|--|---|--------|------|------------------|------|
| | | | | カルタヘナ法 | | 食品衛生法 又は飼料安全法 | |
| | | | | 隔離ほ場 | 一般利用 | 食品 | 飼料 |
| 1 | 参考資料 1 セイヨウナタネの番号 & | 除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネ (改変bar, 改変barnase, barstar, <i>Brassica napus</i> L.) (MS11, OECD UI:BCS-BN0-12-7) 【BASFジャパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び 廃棄並にこれら付隨する行為 | 2017 | 2021 | 2019 | 2019 |
| 2 | 参考資料 1 セイヨウナタネの番号 4 | 除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性セイヨウナタネ (改変bar, barstar, <i>Brassica napus</i> L.) (RF3, OECD UI:ACS-BN003-6) 【BASFジャパン株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び 廃棄並にこれら付隨する行為 | - | 2007 | 2001 | 2003 |
| 3 | 参考資料 1 セイヨウナタネの番号 % | 除草剤グリホサート耐性セイヨウナタネ (改変cp4 epsps, <i>Brassica napus</i> L.) (MON88302, OECD UI: MON-88302-9) 【ハーベルクロップ サイエンス株式会社】 | 食用又は飼料に供するための 使用、加工、保管、運搬及び 廃棄並にこれら付隨する行為 | 2011 | 2013 | 2013 | 2013 |

注1:「承認の状況」の「カルタヘナ法」欄は、第一種使用規程が承認された年を記載しており、「-」は未承認であることを示す。
また、「隔離ほ場」欄における「○」は、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」に基づき、確認されたもの
であることを示す。

注2:「承認の状況」の「食品衛生法又は飼料安全法」欄は、安全性が確認された年又は所定の手続を行った年を記載しており、
「-」は未確認であることを示す。ただし、「-」には、花きなど、食用や飼料用に供さない場合も含まれる。

| 審査番号1 | 品目の概要 | | | |
|-------------|--|-----------|----------|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | 耐熱性 α -アミラーゼ産生、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性トウモロコシ (改変 <i>amy797E</i> , 改変 <i>cry1Ab</i> , 改変 <i>vip3A</i> , 改変 <i>cry3Aa2</i> , 改変 <i>cry1F</i> , <i>ecry3.1Ab</i> , <i>pat</i> , <i>mEPSPS</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (3272×Bt11×MIR162×MIR604×B.t. Cry1F maize line 1507×Event 5307×GA21, OECD UI:SYN-E3272-5×SYN-BT011-1×SYN-IR162-4×SYN-IR604-5×DAS-01507-1×SYN-05307-1×MON-00021-9)並びに当該トウモロコシの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) | | | |
| 申請者 | シンジェンタジャパン株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | — | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | — | — | — | 無しと判断 |
| 交雑性 | — | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号2 | 品目の概要 | | | |
|-------------|---|--|--|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | チョウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>cry1B.868</i> , 改変 <i>cry1Da</i> , <i>Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (MON95379, OECD UI: MON-95379-3) | | | |
| 申請者 | バイエルクロップサイエンス株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 食用又は飼料用に供するための使用、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | チョウ目昆虫30種 | チョウ目昆虫に対して Cry1B.868 蛋白質及び 改変Cry1Da 蛋白質が 殺虫活性を示す可能性が考えられた。 | 本組換えトウモロコシの 花粉及び植物体の摂食による影響を受ける 可能性は極めて低い。 | 無しと判断 |
| 交雑性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号3 | 品目の概要 | | | |
|-------------|---|--|--|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ (<i>mpp75Aa1.1, vpb4Da2, DvSnf7.1, Zea mays subsp. mays</i> (L.) Iltis) (MON95275, OECD-UI: MON-95275-7) | | | |
| 申請者 | バイエルクロップサイエンス株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | コウチュウ目昆虫4種 (アオノネクイハムシ、 オキナワサビカミキリ、 アカガネネクイハムシ、 キンイロネクイハムシ)。 | コウチュウ目昆虫に対しDvSnf7dsRNAが殺虫活性を示す可能性が考えられた。 | 本組換えトウモロコシの花粉及び植物体の摂食による影響を受ける可能性は極めて低い。 | 無しと判断 |
| 交雑性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input checked="" type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号4 | 品目の概要 | | | |
|-------------|---|---|------------------------------------|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズ (<i>cry14Ab-1.b, hppdPf-4Pa, Glycine max (L.) Merr.</i>) (OECD UI: BCSGM151-6) | | | |
| 申請者 | BASF ジャパン株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付隨する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | 線虫 | 線虫に対して、 <i>Cry14Ab-1</i> 蛋白質が殺線虫活性を示す可能性が考えられた。 | 本組換えダイズの花粉及び植物体の摂食による影響を受ける可能性は低い。 | 無しと判断 |
| 交雑性 | ツルマメ | ツルマメ集団中に <i>cry14Ab-1.b</i> 遺伝子及び <i>hppdPf-4Pa</i> 遺伝子が浸透し定着する可能性が考えられた。 | ツルマメに本組換えダイズの導入遺伝子が浸透する可能性は極めて低い。 | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号5 | 品目の概要 | | | |
|-------------|--|-----------|----------|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | 雄性不稔及び稔性回復性並びに除草剤グルホシネート及びグリホサート耐性セイヨウナタネ(改変 barnase , barstar , 改変 bar , 改変 cp4 epsps , <i>Brassica napus</i> L.) (MS11 × RF3 × MON 88302, OECD UI: BCS-BNØ-12-7 × ACS-BNØØ3-6 × MON-883Ø2-9)並びに当該セイヨウナタネの分離系統に包含される組合せ(既に第一種使用規程の承認を受けたものを除く。) | | | |
| 申請者 | BASFジャパン株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | — | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | — | — | — | 無しと判断 |
| 交雑性 | — | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号6 | 品目の概要 | | | |
|-------------|---|---|--------------------------------------|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (<i>ipd079Ea, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DP915635, OECD UI: DP-915635-4) | | | |
| 申請者 | コレテバ・アグリサイエンス日本株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | コウチュウ目昆虫4種 (アオノネクイハムシ、オキナワサビカミキリ、アカガネネクイハムシ、キンイロネクイハムシ) | コウチュウ目昆虫に対しIPD079Ea蛋白質が殺虫活性を示す可能性が考えられた | 本組換えたウモロコシの花粉及び植物体の摂食による影響を受ける可能性は低い | 無しと判断 |
| 交雑性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input checked="" type="radio"/> 特になし | | | |

| 審査番号7 | 品目の概要 | | | |
|-------------|---|---|--|---------------|
| 遺伝子組換え生物の名称 | コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (<i>DvSSJ1, ipd072Aa, pat, Zea mays</i> subsp. <i>mays</i> (L.) Iltis) (DP23211, OECD UI: DP-023211-2) | | | |
| 申請者 | コレテバ・アグリサイエンス日本株式会社 | | | |
| 使用等の内容 | 食用又は飼料用に供するための使用、栽培、加工、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為 | | | |
| | 野生動植物等の特定 | 影響の具体的な内容 | 影響の生じやすさ | 生物多様性影響の有無の判断 |
| 競合における優位性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| 有害物質の產生性 | コウチュウ目昆虫4種 (アオノネクイハムシ、オキナワサビカミキリ、アカガネネクイハムシ、キンイロネクイハムシ) | コウチュウ目昆虫に対しDvSSJ1dsRNA、IPD072Aa 蛋白質が殺虫活性を示す可能性が考えられた。 | 本組換えトウモロコシの花粉及び植物体の摂食による影響を受ける可能性は極めて低い。 | 無しと判断 |
| 交雑性 | 特定されず | — | — | 無しと判断 |
| その他特記事項 | <input checked="" type="radio"/> 特になし | | | |